

2026年度（10月入学）

小樽商科大学大学院商学研究科

現代商学専攻
（博士後期課程）

学生募集要項

一般入試
社会人入試

小樽商科大学大学院商学研究科
〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5番21号
TEL: 0134-27-5253
URL: <https://www.otaru-uc.ac.jp/>

1 特色

本学現代商学専攻博士後期課程は、特定のテーマについて研究を深め、研究成果を博士論文に結実させる「テーマ研究型大学院」である。

流通、金融、経営及び会計という「商学」の領域を中核とし、ビジネスの環境や諸制度に関する理解と研究を深める科目群、最新のビジネス・ツールに関する科目群を配置し、ビジネスの複合性、多様性を理解し、研究を進める。

博士論文は、理論、制度、環境及びツール等のバランスのとれた理解を前提に、複数の教員によりきめ細かな指導を行う。こうした教育課程は博士の学位の質を保証するものである。

2 アドミッション・ポリシー

小樽商科大学大学院商学研究科現代商学専攻は、「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を極め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する人材の育成を目的とする。」(小樽商科大学大学院学則第1条)という理念に基づき次のような人を求めています。

求める学生像

- (1) 複合的で多様な現代ビジネスの諸問題を深く追求し、研究者を目指す人
- (2) 高度職業人として国際社会および地域に積極的に貢献しようとする意欲のある人

3 養成しようとする人材

- ① 博士レベルの高度専門職としてのアナリストやコンサルタント
- ② 環境、観光、福祉、医療等の地域振興の課題に関する政策立案、企画、マネジメントを担う地域振興のリーダー(知識基盤社会を支える高度な知的素養を備えた地域リーダー)
- ③ ビジネススクール(商学・経営系専門職大学院)教員
- ④ 日本のビジネスに通暁し、国際的に通用する博士として、国際的(特にアジア諸国)に活躍する教育研究者

4 教育課程の編成

本課程に3年以上在学し、下表に示す年次配当にしたがって講義10単位以上、演習(博士論文執筆計画および博士論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの計10単位)を修得し、かつ必要な論文指導を受けたうえで、博士論文の審査および最終試験に合格した者には、博士(商学)の学位を授与する。

教育課程の編成

学年	時期	講義(10単位以上)	演習(10単位)
1年	前期	複数の教育研究分野から10単位以上[注]	博士論文執筆計画(4単位) ・複数教員による指導 (博士論文執筆計画審査会[注])
	後期		
2年	前期		博士論文指導Ⅰ(2単位) ・複数教員による指導 (中間報告会)
	後期		
3年	前期		博士論文指導Ⅱ(2単位) (博士論文事前審査会) 博士論文指導Ⅲ(2単位) (博士論文審査会) (最終試験)
	後期		

[注]複数の教育研究分野から、講義科目10単位以上を修得し、博士論文執筆計画(4単位)の最終審査である博士論文執筆計画審査会の審査に合格しなければ、博士論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修できない。

5 カリキュラム（※2026年度のものであり、2027年度については変更になることがある。）

現代商学専攻博士後期課程の教育研究分野と授業科目・担当教員

教育研究分野	教員氏名	専門領域	授業科目	単位
現代商学教育研究分野	鈴木 和宏	マーケティング論 消費者行動論	現代マーケティング特論	2
	2026年度非開講	マーケティング論 流通システム論	現代流通システム特論	2
	プラート カロラス	国際マーケティング論 国際広告論 国際広告マーケティング論	現代国際マーケティング特論	2
	王 力勇	観光マーケティング グローバル・マーケティング	観光マーケティング特論	2
	小林 広治	国際マーケティング 広告学 スポーツマネジメント	特別講義（スポーツマーケティング特論）	2
組織マネジメント教育 研究分野	加賀田 和弘	経営学 経営戦略論 環境経営論 企業と社会論	現代経営組織特論	2
	多木 誠一郎	協同組合法 非営利組織法 商法 韓国法	現代企業組織法務特論	2
	2026年度非開講	進化経済学	ビジネスと経済制度	2
	(非)金 鎔基	労働経済 労使関係 人事・労務管理	労務管理特論	2
	林 松国	中小企業 産業集積	産業集積特論	2
企業情報戦略教育研究分野	石川 業	財務会計 財務分析 企業価値評価	現代財務会計情報特論	2
	乙政 佐吉	管理会計 原価計算 コストマネジメント	現代管理会計情報特論	2
	三浦 克宜	知能情報学 ソフトウェア科学	現代情報システム特論	2
	沼澤 政信	教育学習支援システム 知能情報学 計算機科学	情報技術特論	2
	ジョーダン チャールズ	形式論理 計算機科学	計画数理特論	2
現代ビジネスの理論と 制度教育研究分野	佐野 博之	公共経済学	ビジネスのための経済分析	2
	2026年度非開講	—	経済分析特論	2
	小林 友彦	国際法 国際経済法	ビジネス法務特論	2
	(非)平沢 尚毅	人間工学 情報システム学 ユーザビリティ工学	ビジネスにおける情報活用特論	2
	(非)中浜 隆	保険論	保険とリスク	2
	片桐 由喜	社会学	現代企業人材法務特論	2
演 習			博士論文執筆計画	4
			博士論文指導Ⅰ	2
			博士論文指導Ⅱ	2
			博士論文指導Ⅲ	2
博士論文				
最終試験				

- ①現代商学教育研究分野
最狭義の商学に関する教育研究分野。
 - ②組織マネジメント教育研究分野
伝統的な経営学の領域に限定せず、組織の法制度的側面についても教育研究する分野。
 - ③企業情報戦略教育研究分野
伝統的な会計情報の領域にとどまらず、情報システム構築及び情報処理や情報活用の最新のツールや手法を教育研究する分野。
 - ④現代ビジネスの理論と制度教育研究分野
本専攻の特徴ともいえるビジネスの複合性、多様性を理解するとともに、理論、制度、環境及びツール等のバランスのとれた理解を前提に研究が進むように授業科目を配置した教育研究分野。
- (非)…非常勤講師。

6 学費等

■入学料・授業料

区 分	金 額
入 学 料	282, 000円
授業料(年額)	535, 800円

〔注〕 左記の額は2026年度入学者の予定額であり、入学時及び在学中に納付金を改定する場合がある。

■入学料・授業料の免除、入学料の徴収猶予

入学料・授業料の納付が著しく困難であると認められる場合には、選考の上、入学料・授業料を免除(全額又は半額)する制度や、入学料の納付を所定の期日まで猶予する制度がある。

■奨学金

人物・学業がともに優秀であって、経済的理由のため修学が困難であると認められる者に対しては、選考の上、日本学生支援機構の奨学金が貸与される制度がある。現在の博士後期課程の学生に対する貸与月額は、第一種(無利子)は8万円・12.2万円の中から選択できる。第二種(有利子)は5万円・8万円・10万円・13万円・15万円の中から選択できる。

■■■■■ II 2026年度(10月入学)の学生募集内容 ■■■■■

1 専攻等及び入学定員(募集人員)

専 攻	入学定員(募集人員)
現代商学専攻博士後期課程	一般入試、社会人入試及び進学者選考を合わせて若干名

2 出願資格

■一般入試

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2026年9月までに取得見込みの者
 - (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び2026年9月までに取得見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び2026年9月までに取得見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年9月までに授与される見込みの者
 - (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律大72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年9月までに授与される見込みの者
 - (6) 外国の学校、上記出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び2026年9月までに合格見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
- 〔注〕

(7) 文部大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)

「大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」〔注〕

(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び2026年9月30日までに24歳に達するもの〔注〕

■一般入試(専門職学位選抜)

専門職学位を有する者又は2026年9月までに取得見込みの者

■社会人入試

一般入試に示すいずれかの資格を有し、2026年9月30日までに、常勤、非常勤を問わず4年以上の職業経験を有する者、又は有する見込みの者

■社会人入試(専門職学位選抜)

専門職学位を有する者又は2026年9月までに取得見込みの者で、常勤、非常勤を問わず4年以上の職業経験を有するもの、又は有する見込みの者

〔注〕出願資格(6)、(7)及び(8)により出願しようとする者(社会人入試を含む)は、事前に入学資格審査を行うので、**2026年5月27日(水)までに本学教務課入試室入学試験係へ問い合わせること。**

3 出願手続

出願は、「インターネット出願システム」による出願登録、検定料の支払い及び出願書類の提出を以て完了とする。手続の詳細については、「インターネット出願手続の流れ」(9頁～11頁)を確認すること。

(1) 出願書類

以下の出願書類のうち、TOEFL 又は TOEIC のスコアを除く書類については、すべて書面で用意し、出願用封筒(市販の角形2号封筒)を用いて本学窓口又は郵送にて提出すること。(詳細は、(4)提出方法を参照すること。)

*印は、本学所定の用紙を示す。なお、紙媒体での配布は行わないので、下記の摘要にて各書類の入手方法を確認すること。

小樽商科大学受験生サイト:<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/graduate/gguide/>

書類等	様式	提出者	摘要
*入学志願書 (写真票を含む)		全員	①インターネット出願システム(本学受験生サイトからアクセス)にて所定の事項を入力し、出願前3ヶ月以内に撮影した志願者のカラー写真データ(上半身・脱帽・正面向き・背景なし・JPEG形式・3MB以内のもの)をアップロードすること。(写真を更にスマートフォン等で撮影したものは不可。)[注1] ②その後、検定料の支払い手続きを行い、入学志願票(写真票を含む)をそれぞれA4片面でカラー印刷すること。[注2] ③上記①で入力した以外の必要事項を手書きで記入すること。なお、「希望指導教員名」の記入は任意とする。ただし、入学後に希望した教員の指導が約束されるものではない。
*宛名シート		全員	検定料支払いの後、インターネット出願システムから本学様式の宛名シートを印刷し、出願用封筒(市販の角形2号封筒)に糊付け等で貼り付けること。[注2]
*研究業績等及び 研究計画書	様式1	全員	【研究業績等】下記の①～③のいずれかを 各3部 提出すること。 ①「修士論文(写)」及び「論文要旨」(A4横書、3ページ程度) ②修了見込み者で、出願時点で修士論文が完成していない者については、「修士論文草稿」及び「論文要旨」(A4横書、3ページ程度) ③①又は②の提出ができない者については、それに準ずる論文等 【例】 ・著書、学術論文、リサーチペーパー又はそれに代わるもの ・学術講演等の記録又はそれに代わるもの ・本人の参画を証明できる事業計画書、調査報告書、法・条例の立案書等 なお、①又は②提出者で、上に例示した論文等の研究業績がある者は、①又は②に併せて提出することが可能である。 【研究計画書】 小樽商科大学受験生サイト内の大学院入試日程・募集要項のページからWord形式のファイルをダウンロードし、A4の用紙に印刷すること。なお、用紙のサイズの拡大・縮小はしないこと。

			また、書面での提出とは別に添付ファイル(「.txt」又は「.docx」)にて本学教務課入試室入学試験係(nyushi@office.otaru-uc.ac.jp)宛に送付すること。
*就業証明書	様式2	該当者	小樽商科大学受験生サイト内の大学院入試日程・募集要項のページから Word 形式のファイルをダウンロードし、A4 の用紙に印刷すること。なお、用紙のサイズの拡大・縮小はしないこと。
成績証明書		全員	大学長、学部長、又は研究科長が作成し厳封したもの。 最終出身学校のもののみ提出すること。(本学在学学生、修了生は、本学が確認するので提出不要)
修了(見込)証明書		全員	大学長、学部長、又は研究科長が作成したもの。 出願資格(7)、(8)により出願する者は、最終出身学校の卒業(見込)証明書を提出すること。(本学在学学生、修了生は、本学が確認するので提出不要)
在留カードの写し		該当者	転入届けを済ませていない者は、パスポートの写し。
TOEFL 又は TOEIC スコア		該当者	一般入試志願者は原則として提出が必要。 ただし、「英語を母語とする、あるいは教育言語を英語とする大学で学部を卒業し、又は大学院を修了した者」については、口述試験において英語の評価を行うので、提出を必要としない。 なお、TOEFL 等を受験していない場合は、事前審査のうえ出願を認めることがあるので、2026年5月27日(水)までに本学教務課入試室入学試験係に相談すること。 【対象となるスコア】 出願締切日の2年前以降に受験したもの(1通) TOEFL ITP スコア、TOEIC IP スコアは認めない。 TOEIC のスコアは国内で受験したものに限り。 (TOEFL) ・ ETS アカウントの個人ページから、本学へスコアを直送する手続きをとること。スコアレポートの本学到着は出願期間中を原則とする。到着に時間を要する場合があるので、早めに手続きをとること。 (TOEIC) ・ TOEIC 申し込みサイトから本学へスコアを提出すること。(公開テストスコア確認サービス)

〔注1〕 インターネット出願システム上での必要事項の入力及び写真のアップロードは、出願期間内でのみ行うことができる。

〔注2〕 検定料の支払いを完了しなければ、入学志願票(写真票を含む)及び宛名シートを印刷できないので、出願期間に十分注意すること。

- 1) 提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書、文書、資料等については、出身大学又は公的な機関等で日本語に訳したものを添付すること。
- 2) 国費外国人留学生制度実施要領(昭和29年3月31日 文部大臣裁定)に基づく国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生については、協議書類をもって出願書類に代える場合がある。

3) TOEFL、TOEIC のスコアの提出について

〔TOEFL スコア〕

- ・小樽商科大学の DI コード:9699
- ・ETS アカウントの個人ページから、上記 DI コードを指定して、本学へスコアを直送すること。出願先へのスコアレポート送付・到着日数についての詳細は実施機関の Web サイトを参照すること。
https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/scores.html

〔TOEIC スコア〕

- ・「公開テストスコア確認サービス」の詳細及び手続きについては TOEIC 実施機関の Web サイトを参照すること。
<https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score2.html>
- ・小樽商科大学教務課入試室入学試験係の申請コード:00008501

4) 受験票について

出願書類が受理された志願者には、2026年6月29日(月)10:00(予定)より、インターネット出願システムから受験票のダウンロードが可能となるので、各自印刷して試験当日に必ず持参すること。

(2) 検定料

志願者は、30,000円(払込手数料別、志願者負担)を期日までに支払うこと。
支払い方法は、インターネット出願システムに表示される指示に従うこと。(コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM(ペイジー)より選択可能。)
なお、既納の検定料は、いかなる事情があっても還付しない。

(3) 出願期間

2026年6月2日(火)から2026年6月16日(火)まで

(4) 提出方法

志願者は、出願書類等を取りそろえ、定形外封筒(角形2号)を使用し、下記いずれかの方法により提出すること。なお、受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しない。

- ・窓口での提出 窓口での提出は土曜、日曜及び祝日を除く8:30～12:00、13:00～17:15とする。
- ・郵送による提出 「簡易書留・速達」とする。(最終日必着)

(5) 提出先

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号 小樽商科大学教務課入試室入学試験係
TEL:0134-27-5253

インターネット出願システムへの登録及び検定料の支払いが完了しても、出願書類が提出期限までに届かない場合は、出願を受理しないので、注意すること。

4 選抜方法

■一般入試

研究業績等及び研究計画書(書面審査、口述試験)並びに英語試験を総合判定し、選抜する。
なお、「英語試験」については、原則として TOEFL 又は TOEIC のスコアを利用する。〔注1〕
各試験等の配点

研究業績等及び 研究計画書の書面審査	研究業績等及び 研究計画書の口述試験	英語試験	合計
150点	100点	50点	300点

■一般入試(専門職学位選抜)

研究業績等及び研究計画書(書面審査、口述試験)、英語試験並びに成績証明書を総合判定し、選抜する。
なお、「英語試験」については、原則として TOEFL 又は TOEIC のスコアを利用する。〔注1〕

各試験等の配点

研究業績等及び 研究計画書の書面審査	研究業績等及び 研究計画書の口述試験	英語試験	成績証明書	合計
100点	100点	50点	50点	300点

〔注1〕一般入試受験者の「英語試験」については、原則として TOEFL 又は TOEIC の成績を、本学が定める基準に基づき、英語試験の得点に換算する。

なお、英語を母語とする、あるいは教育言語を英語とする大学で学部を卒業し、又は大学院を修了した者については、口述試験において英語の評価を行うので、TOEFL 又は TOEIC スコアの提出は必要としない。

なお、TOEFL 等を受験していない場合は、事前審査のうえ出願を認めることがあるので、2026年5月27日(水)までに本学教務課入試室入学試験係に相談すること。

また、TOEFL 等を受験しておらず、事前審査のうえ出願を認めた者に対する英語の評価方法については、該当者に対して個別に通知する。

TOEFL 又は TOEIC スコアは次の基準で換算する。

TOEFL iBT スコア	TOEIC スコア	換算点
80以上	730以上	50点
76～79	700～729	45点
71～75	670～699	40点
68～70	640～669	35点
64～67	610～639	30点
61～63	580～609	25点
57～60	550～579	20点
55～56	520～549	15点
52～54	490～519	10点
48～51	460～489	5点
47以下	459以下	0点

■社会人入試

研究業績等及び研究計画書の書面審査並びに面接試験を総合判定し、選抜する。
各試験等の配点

研究業績等及び 研究計画書の書面審査	面接試験【注2】	合計
100点	200点	300点

■社会人入試(専門職学位選抜)

研究業績等及び研究計画書の書面審査、面接試験並びに成績証明書を総合判定し、選抜する。
各試験等の配点

研究業績等及び 研究計画書の書面審査	面接試験【注2】	成績証明書	合計
100点	150点	50点	300点

【注2】社会人入試における面接試験は、研究業績等及び研究計画書に関する口述試験、職務経験及び職務専門性に関する内容を含むものとする。

5 入試日程等

(1) 試験の日時等

口述試験・面接試験 2026年7月25日(土) 10:00～
試験は小樽商科大学で行う。面接室の案内図は当日通知する。

(2) 合格者の発表

2026年9月3日(木) 10:00

- 1) 合格者の受験番号を、小樽商科大学受験生サイト上 (<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/graduate/gdata/>) に掲載し、さらに、合格者には合格通知書を送付する。
- 2) 電話、メール等による合否についての照会には、一切応じない。

6 入学手続

(1) 入学手続期間

2026年9月4日(金)から9月11日(金)まで。(土曜、日曜及び祝日を除く。)

郵送の場合は9月11日(金)必着。

9月11日(金)までに入学手続を行わないときには、入学辞退者として取り扱う。

(2) 提出書類

本学が指定したもの。(合格通知後の入学手続案内で知らせる。)

(3) 入学料及び授業料

	納付額	納付時期
入学料	282,000円	入学手続期間内に納付
授業料	前期分267,900円 [年額 535,800円]	入学後(2026年11月中)に納付

[注] 上記の納付額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。

1) 入学料、授業料の納付方法、免除、徴収猶予の申請等詳細については、入学手続案内で知らせる。

2) 既納の入学料は、いかなる事情があっても還付しない。

3) 本研究科現代商学専攻博士前期課程を2025年3月から2026年9月までの間に修了した者、又は北海道国立大学機構が設置する国立大学の博士前期課程又は専門職学位課程を2026年9月に修了した者は、入学料を徴収しない。

7 その他

(1) 障がい等を有する入学志願者との事前相談

大学は、受験上及び修学上の合理的配慮を行う。ただし、受験にあたっては、会場準備等の必要があることから、障がい等のある志願者は、出願前に本学教務課入試室入学試験係に相談すること。

なお、必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る者との面談等を行う。

(2) 入試情報開示

2026年度入学者選抜にかかる受験者の入学試験情報について、次のとおり開示する。

ア 申請者: 受験者本人に限る。

イ 申請及び開示期間: 合格発表の翌日から次回試験日の前日まで

(土曜、日曜、祝日、年末年始(12月26日～1月3日)及び本学一斉休業日を除く8:30～12:00、13:00～17:15とする。)

ウ 申請方法: 本学所定の用紙により申し込むこと。

郵送により申し込む場合は、あらかじめ電話又は文書により本学教務課入試室入学試験係まで申し出ること。

なお、本人確認のため本学受験票が必要である。

エ 開示方法: 窓口での交付又は郵送による。

ただし、郵送により申請した者には、受験者本人あて簡易書留により郵送する。

オ 開示内容: 研究業績等及び研究計画書(書面審査・口述試験)、面接試験、英語試験並びに成績証明書等の得点のうち合否判定に採用した得点及び合計点

(3) 個人情報の取り扱いについて

1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。

2) 志願者の氏名、住所その他出願書類により取得した個人情報及び入学試験成績については、入学者選抜(出願処理、選抜実施)、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等の調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用する。

3) 合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前教育、入学後の学籍管理、成績管理、授業料管理、図書館利用管理の他、教育活動、学生生活支援及び就職支援活動に必要な組織内の業務遂行のためのみ利用する。

インターネット出願手続の流れ

小樽商科大学ではインターネット出願を行うためのシステムとして「Post@net(ポスタネット)」を利用しています。

出願完了までの流れは以下のとおりです。

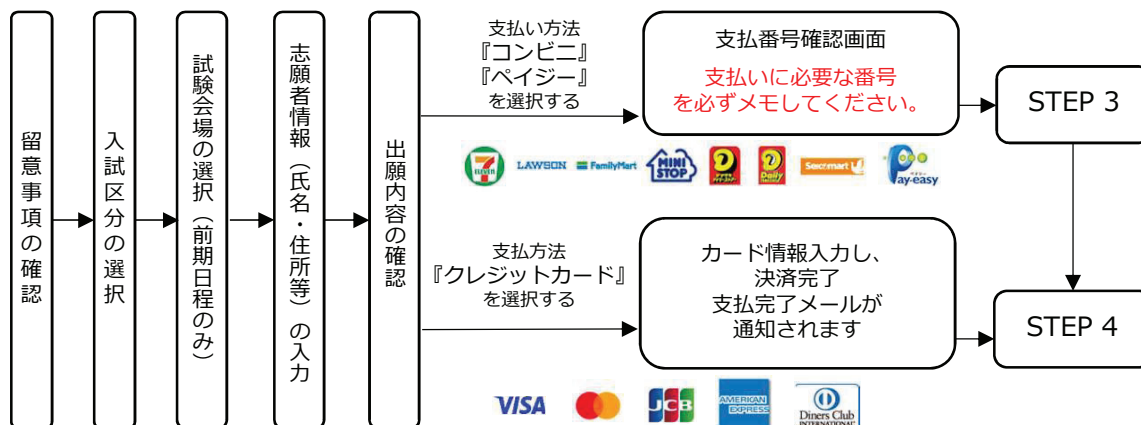


STEP1 事前準備

- ・インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン・タブレットのほか、プリンターや受信可能なメールアドレス※を用意してください。
※迷惑メール対策をされている場合、「Post@net」や本学からのメールを受信できない場合がありますので、『@postanet.jp』『@office.otaru-uc.ac.jp』の受信許可を必ず行ってください。
- ・「出願手続」の「出願書類等」を確認し、出願期間前に準備できる必要書類等については、早めに準備を始めておいてください。
- ・出願には「Post@net」への登録が必要です。
小樽商科大学受験生サイト (<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/graduate/gguide/>) から「Post@net」にアクセスし、ログイン画面の「アカウント作成」から登録を行ってください。

STEP2 出願登録

- ・「Post@net」にログインしてください。なお、出願登録は各入試区分の出願期間内のみ行うことができます。
- ・画面の手順や留意事項を確認して、必要事項を入力してください。



- ・志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に氏名・生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。**志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。**

STEP3 検定料の支払

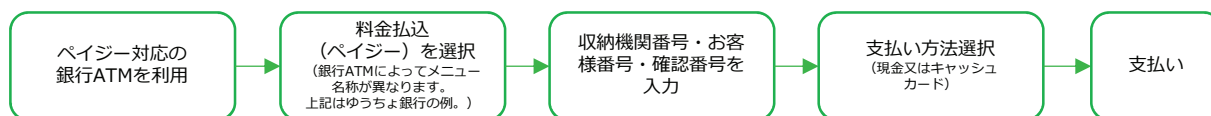
・支払い方法（コンビニ・ペイジー又はクレジットカード）を選択し、検定料をお支払いください。
※コンビニ・ペイジーを選択した場合は、下記手順に従って検定料をお支払いください。

■コンビニ



お支払いになるコンビニによって操作方法が異なりますので、「学校一覧」から「小樽商科大学」を検索し、「はじめに」ページにある「検定料のお支払方法について」を参照の上、必要な情報のメモ等をし、支払い期限までに検定料を支払ってください。

■ペイジー（銀行ATM）



■ペイジー（ネットバンキング）

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払い方法を確認し検定料を支払ってください。

※コンビニ・ペイジーでの支払いに必要な番号を忘れた場合、「Post@net」へログインし「出願内容一覧」から小樽商科大学の「出願内容を確認」を選択すると、支払番号の確認画面についても再表示できます。

なお、支払期限を過ぎると、登録した内容での検定料のお支払いができなくなります。

■払込手数料

検定料が17,000円以下	680円（税込）
検定料が17,000円を超える場合	1,200円（税込）

- ・ 検定料の他に別途、払込手数料が必要です。
- ・ ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。
- ・ 一度納入した検定料は、原則返金しません。
- ・ 検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして入学試験が終わるまで保管してください。

STEP4 出願書類の印刷・郵送

・下記手順に従って入学志願票、封筒貼付用宛名シートを印刷してください。

- ①「Post@net」へログインし「出願内容一覧」から小樽商科大学の「出願内容を確認」を選択し「入学志願票ダウンロード」、「封筒貼付用宛名シートダウンロード」をクリックして、それぞれのPDFファイルをダウンロードします。
- ②①のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4・カラーで印刷してください。
- ③印刷した入学志願票などの必要書類を同封して郵便局窓口から郵送してください。封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、直接封筒に記入して下さい。
※郵便番号・住所・氏名を記入して必要書類を簡易書留・速達で郵送してください。



市販の角形2号封筒に封筒貼付用宛名シートを貼り付けて必要書類を封入してください。

STEP1～STEP4をすべて完了し、期限内に出願書類を本学に提出することによって、出願が正式に受理され、受験票が発行されます。
(出願登録・検定料支払い・出願書類提出のいずれかが行われなかった場合は、出願が受け付けられません。)
※出願に際しては、「出願期間」を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって出願してください。

【出願完了】

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。

登録が完了しても**出願書類が提出期限までに届かない場合は、出願を受理しません**ので注意してください。

STEP5 受験票の印刷

・下記手順に従ってデジタル受験票を印刷してください。
・受験票の発行開始日（予定）については「出願手続」の「受験票について」をご確認ください。

- ①「Post@net」へログインし「出願内容一覧」から小樽商科大学の「出願内容を確認」を選択し「デジタル受験票ダウンロード」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。
- ②①のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4・カラーで印刷してください。
- ③試験当日に必ず受験票を持参してください。

※試験日の5日前までに、受験票が発行できない場合は、本学教務課入試室入学試験係(☎0134-27-5254)までご連絡ください。

その他の留意事項

- ・インターネット出願サイト利用中の操作ミスや、接続不良を理由とした出願期間後の申込は受けませんので、インターネット環境に不安のある場合は、必ず出願期間前に、本学教務課入試室入学試験係まで申し出てください。
- ・出願登録は各入試区分の出願期間開始日の0時から出願期間最終日の23時59分まで行うことを可能とします。ただし、検定料の支払いは出願期間最終日までとし、出願書類の郵送は出願期間最終日の必着とします。
- ・インターネット出願システムの登録後、登録内容の修正はできないため、登録前に誤りがないか十分に確認のうえ、登録してください。万が一、登録内容の修正が必要となった場合は、印刷した出願書類の該当箇所を二重線で修正の上提出してください。
- ・二重で出願登録してしまった場合は、どちらか一つだけ決済を進めてください。もう一つは未決済で問題ありません。
- ・写真は、出願期間終了後に一括して承認しますので、「承認待ち」となっても手続きを進めてください。